

特定非営利活動法人石巻復興支援ネットワーク第9期事業報告書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

1 事業の成果

2019年度(第9期)事業について

第9期は、管理部門を除き、13の事業を実施しました。事業は3本の柱で構成しています。一つ目の柱である「女性の活躍推進」では、宮城県からの補助金により、「育児中の母親と地域社会の絆をつなぐインキュベーションとインターンシップ事業」を実施しました。石巻圏域の仕事再開したい女性と震災後立ち上がった女性の活動のサポートを通して、「女性のチカラ」を地域づくりに活かすことを目的とし、女性活躍支援プログラム「green(グリーン)」を開講。インターンシップ事業では8名の受講者が3回のワークショップと地元企業、地域で活動する団体での職業体験を通して、自身の働き方を見つめ直し、4名の受講者が就労に繋がりました。インキュベーション事業では4つのセミナーと創業相談窓口を開設し、創業者の支援を行いました。

宮城県子育て女性就職支援拠点事業では、家庭の女性が子育てしながらも働いたり、自己実現を図ることで多様性のある地域社会づくりや子育てしやすい地域の実現を目指し、地域の子育て女性を対象とした、性別役割分担解消イベント、就労支援セミナー、就職説明会を開催し、のべ218名が参加しました。女性の就労に関する個別相談も前年度から継続して実施し、35件の相談を受け、地域の子育て女性の就労の後押しを行いました。

今年度から新たに始まった、JJOCC助成プログラム「ストレスを抱える女性の自己回復力向上のための人材育成事業」では、女性の能力がさらに活かされる地域社会につなげることを目指し、医薬品会社ジョンソン・エンド・ジョンソンの助成を受け、ストレス対処の手法を提供できる人材を育成するためのスクールを開講。コーチング・メンタルヘルス・レジリエンス分野の3本立てで講座を開講し、2019年度は、コーチング分野において宮城県仙台市に拠点を構えるコーチング研修会社ドリームフィールドのコーチング資格取得を目指し、石巻圏域で8名の資格者を養成しました。「メンタルヘルス」「レジリエンス」分野においては、今年度は基礎知識などを学ぶ入門講座を開講し、2020年度には有資格者として認定講師養成講座の実施を予定しています。

二つ目の柱である「子育て支援」では、コミュニティスペースバタフライにて、子育て相談会や親子向けのワークショップを含む、「やっぺす！ママ子ども食堂」の開催を中心に、企業との協働事業として、ママ向け・親子向けのイベントを開催しました。やっぺす！ママ子ども食堂は、開催総回数：38回、総参加人数は 250組、610名(大人：260名/子ども：350名)にのびりました。また、地域の子ども食堂を運営する団体や行政、社協、協力企業とネットワークを構築し、「石巻圏域子ども食堂連絡会議」を立ち上げました。互いに地域での活動の課題の共有や連携を強化し、8月には「石巻圏域地域子ども食堂フォーラム2019」を開催(石巻市水産総合振興センター)、参加団体：12団体、来場者数：52名となり、地域に子ども食堂の輪を広げることができました。次年度以降も事務局を持ち回りで運営し、継続展開につなげます。

三つ目の柱である「復興支援」では、復興公営住宅コミュニティ形成支援事業として、コミュニティ形成と住民の生きがい創出、自信の回復の為に、復興公営住宅の集会場・当団体ホールにて、サロン活動やイベント、バス遠足を開催しました。年間33回のサロン活動・イベントを仮設住宅や復興公営住宅の集会所にて開催、のべ555名の参加があり、閉じこもりがちな復興公営住宅の暮らしの中で外出の機会をつくり、住民の孤立化を防ぐことで、既に復興公営住宅でも起こっている孤独死の防止に繋がることができました。また、毎年海の日の恒例である「サン・ファン石巻まつり」を今年は市民有志らが実行委員長、実行委員会を務め実施、参加者は2,500名を超え、市民に愛されるイベントとして益々の盛り上がりを見せています。

復興コーディネート事業では、今年度も約700名の社会人・学生らのボランティア活動や視察を受け入れ、グッズ販売では、無事かえるシリーズ「やっぺすオリジナルボトル」を制作し、新賛助会員制度の会員様へお渡ししています。

なお、今年も3月6日に活動報告会を実施、新型コロナウイルスの感染対策の為、東京会場と石巻会場をオンラインでつなぎ、都内近郊39名のステークホルダーらに対して1年の活動報告を実施し、今後の事業展開につなげました。

2 事業に関する事項

事業名		事業内容	事業実施日時・期間	事業実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)	
女性の活躍推進	1	JWLI Bootcamp ISHINOMAKI	各日セッションを行い、最終日にはベンチャーカフェ東京で発表を行う権利を獲得をかけたプレゼンを行う	2019年6月14～16日	石巻市内のやっぺす	1	全国から参加者を公募(応募数非公開) 当事業への参加者：8人	8,127
	2	育児中の母親と地域社会の絆をつなぐインターンシップ事業	石巻市及びその周辺の市町村に住む女性に対し、NPO等での活動体験を通じ、地域課題解決へ向けたアイデアを企画する体験型連続プログラムを行う。	平成31年5月11日から令和2年3月31日まで	石巻市内	3	石巻市及び周辺の市町村在住の子育て中の女性と震災後起業または活動をはじめた女性	
	3	子育て女性就業支援拠点事業	石巻市及びその周辺の市町村に住む女性に対し、就労相談や就業支援講座、合同就職説明会を行う。	平成31年4月1日から令和2年2月28日まで	石巻市内	3	石巻市及び周辺の市町村在住の子育て中の女性	
	4	復興まちづくりにおける男女の意識調査事業	石巻圏域の子育て世代の女性、男性の実態調査、意識調査をアンケート、男女のホンネトークカフェを開催し、調査する。そこから抽出したニーズをもとに、男女共同参画社会形成における専門家と男性向け事業の立案、講座の企画をおこない実施する。	平成31年4月1日から令和2年1月31日まで	石巻市、東松島市、女川町	1	石巻市及び周辺の市町村在住の子育て世代の男女	
ストレスを抱える女性の自己回復力向上のための人材	5	ストレスを抱える女性の自己回復力向上のための人材育成事業	石巻市及びその周辺の市町村に住む女性。または女性のためのパーソナル認定コーチ養成講座やメンタルヘルス、レジリエンス入門講座を行う。	通年(前期からの継続事業) (開講期間は2019年4月～2020年3月)	石巻市内の会場	3	地域で女性の癒し・ヘルスケアを主に活動している女性や子育てサークルを主宰する女性	2,820
ママ子ども支援事業	6	コミュニティスペース butterfly	①子育て相談会や親子向けのワークショップを含む、ママ子ども食堂の開催。 ②コミュニティスペースバタフライのレンタルスペース運営 ③企業との協働事業として、ママ向け・親子向けのイベント開催	通年(前期からの継続事業)	コミュニティスペース・バタフライほか、石巻市内の会場	3	・石巻圏域の子育て中の母親、父親 ・新しいチャレンジをしたい地域の女性 ・石巻圏域で子ども食堂を開催している団体 ・コミュニティ作りの場所を探している女性	3,103
内職コーディネート	7	Amanecer	アクセサリーを取り扱うECサイトの運営	通年(前期からの継続)	石巻市内(販促地域は全国)	3	石巻市及びその周辺の市町村在住の乳幼児を持つ母親	1,979
	8	おうちごと	手仕事(制作)を依頼したい企業と共同で、ママたちへ内職を提供している	通年	石巻市	1	・石巻市及びその周辺の市町村在住の女性	

2 事業に関する事項

事業名		事業内容	事業実施日時・期間	事業実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
復興の担い手育成	9	石巻に恋しちゃった♡事業 ・市民参加型イベント「サン・ファン・石恋まつり」 ・「防災やっぺす!」:ワークショップの開催 ・新聞定期掲載とマッチングによる達人の応援	通年(前期からの継続)	①宮城県慶長使節船ミュージアム内サン・ファンパーク ②1)登米市南方 2)栗原市若柳 3)富山県南陽市	2	達人:石巻・東松島・女川に住まう人・お勤めの人・出身者 参加者: ・講師をさがしている石巻圏域及びその周辺の公民館・企業・団体・個人など ・石巻に恋しちゃっている物販・癒し・ワークショップなどの提供者・地元学生・地域企業・協力企業など ・地域の防災意識を高めたい団体・企業など	729
	10	創業支援連携事業 石巻市内の事業者に対し、セミナーや相談対応等の創業支援と創業支援に特化した、webサービスの開発と運用を行う。	2019年7月～2020年	石巻市内	1	宮城県内にて事業を営む事業者や経営者 又、創業希望者、既創業者ら	736
被災者のコミュニティ形成支援	11	やっぺす隊がやってくる! 復興公営住宅の集会所・当団体のホールにて、住民のニーズに合ったサロン活動やイベントを開催する。 サロンの講師は地域住民または復興住宅、自宅再建の方々にお願いすることにより、出番と居場所を作る	通年(前期からの継続事業) (期間は2019年5月～2020年3月)	石巻市内女川町内や宮城県内の復興住宅の集会所など	1	石巻市。女川町、東松島市に	4,557
復興の担い手育成	12	石巻復興コーディネート事業 被災地での支援活動を希望する個人、企業、NPOに対し視察、ボランティア、研修などのプログラムを企画し、提供する。	通年(前期からの継続事業)	石巻市及びその周辺地域	5	被災地での人材研修、ボランティア作業および視察を希望する個人、企業、NPOなど	6,875
	13	グッズ販売 無事かえるシリーズの商品監修、販促	通年(前期からの継続)	全国	3	全国の防災意識を認識しているコミュニティ層	44
	14	管理部門および共通 適切な事務局業務と、その仕組み作りを行うことで、活動の成果を最大限に高める。	通年	事務所	4		





石巻復興支援ネットワーク 第13期(2018年4月～2020)																
定款第5条における	事業の種別	事業名	収益/非収益	事業の目的	事業内容	事業概要	事業実施日時・期間	事業実施場所	事業マネージャー およびスタッフ	従事者の数	受益対象者の 組織及び人数	活動資金	今期の事業の成果(アウトプット)	今期の事業の成果(アウトカム)	今後の課題	第9期以降の展開イメージ、課題
(8)その他、石巻市復興に関する事業	その他	石巻復興コーディネート事業	収益	被災地のニーズと被災地外の実業ニーズをマッチングすることにより、被災地の復元を促すこと、復興を加速させ、地域の活性化を図る。	被災地での支援活動を希望する個人、企業、NPOに対し、情報、ボランティア、研修などのプログラムを企画し、提供する。	被災地のニーズと被災地外の実業ニーズをマッチングすることにより、被災地の復元を促すこと、復興を加速させ、地域の活性化を図る。	前年(前期からの継続事業)	石巻市及びその周辺地域	菓子屋重吉 菅崎裕子 戸倉幹子 船原としこ 高橋洋祐	5	被災地での人材研修、ボランティア作業および視察を希望する個人、企業、NPOなど	自己資金、企業その他の委託費	<ul style="list-style-type: none"> <li>■復興支援活動 &amp; 視察の実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・被災者(大)棟(1月～4月)181名</li> <li>・大日本印刷(株)(7月26日)12名</li> <li>・三越伊勢丹グループ労働組合(5月)439名(10月～11月)4名</li> <li>・MDRT日本会(10月28日)170名</li> <li>・富士通フタバ(9月～10月)121名</li> <li>・福山市産業高校(9月28日)10名(11月23日)4名</li> <li>・MDRTブルギンセル会(3月28日)(※新型コロナウイルスの影響によりキャンセル)</li> </ul> </li> <li>■研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際基督教大学の学生と派遣コーディネーター(10月19日)約13名</li> <li>・福島ユニバーサル(津波被災に関する女性のリーダーシップ)研修(11月1日)約31名</li> </ul> </li> <li>■講演 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「なげい東北2020」(ゲストスピーカーにて登壇)7月21日</li> <li>・令和元年度大連市(日本)国際経済フォーラム(女性実務家) 多様な視点から防災支援(講演)10月27日</li> <li>・東北福祉大学(学生)と派遣コーディネーター(登壇)9月8日</li> <li>・中央大学法政 廣田守裕子主催シンポジウム「女性が社会を築く」といふこと」</li> <li>・JICA2019年度経路別「ノンフォーマル」教育の推進(12月5日)</li> <li>・令和元年度「新しい東北」交流会(パネリストにて登壇)12月14日</li> </ul> </li> <li>■企業視察事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・方石と株式会社(社)視察(1期)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアニーズのある団体や活動のリーダー</li> <li>・震災から10日が経ち、多様化する被災者ニーズのリーダー</li> <li>・業務の効率化</li> <li>・収益事業として提供価値を高めるための企業の「ブラッシュアップ」</li> <li>・震災から10年となり、他地域でも様々な災害が起きており、市外、国外ボランティアのニーズも変化してきている。</li> </ul>		
(5)石巻市内における費用の割出及び運営促進等関する		グッズ販売	収益	被災の被害を生かした防災用品を販売し、防災意識の向上と被災時の被害軽減に協力する。	無事かえるシリーズの商品開発、販売	無事かえるシリーズの商品開発、販売	前年(前期からの継続)	全県	菓子屋重吉 松久千子	3	全県の防災意識を醸成しているコミュニティ	自己資金	売上:¥116,202	前年度と同様に、石巻市内はもちろん、ECサイト販売による県外購入者に加えて、外県の方にも購入いただくことができ、また、無事かえるシリーズが好評で、希望する事業が実現できていることから、積極的に地域から世界の範囲で、防災意識の向上とつながりの育成の一助となることとなった。	現在販の販販	新商品開発 特許サイトのアップロード(主に商品画像)
		管理部門および共通	非収益	適切な事業管理と、組織運営を行うことで、活動の成果を最大限に高める。石巻の復興の現状や課題、団体活動の進捗を報告、発信することで、支援の継続や新たな支援の獲得に繋げるとともに、震災の風化を防止する。組織体制の見直し、事務スタッフや規約の整備、ルール管理など組織内部のマネジメントを高め、事業推進力を向上させるとともに、スタッフがより力を発揮し、成果を生み出せる組織づくりを行う。また、組織の基盤強化を行うことにより、自主財源率の向上と自立的、自律的な組織運営を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆規定およびルールの策定</li> <li>◆全県mtgの運営</li> <li>◆理事会、総会の開催とその準備</li> <li>◆所轄庁への報告</li> <li>◆事業計画と事業報告の作成</li> <li>◆総務 ◆経理 ◆人事</li> <li>◆メルマガ(「やっべす通信」の発行(月1回))</li> <li>◆ブログやFB、Twitterでの情報発信</li> <li>◆活動報告会(東)東京</li> <li>◆年次報告書(2017年度)の作成</li> <li>◆各種取材、調査やアンケートへの対応</li> <li>◆助成機関や支援者、行政や関係各所とのやりとり</li> <li>◆寄付対応</li> <li>◆NPJ連絡会議への幹事団体としての参加</li> <li>◆組織運営強化(東日本大震災現地NPO応援基金)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆スタッフ全体mtgの開催(月1回)。</li> <li>◆収益事業の改善</li> <li>◆3月8日、ジョンソン・エンド・ジョンソン本社社内で「アフターエビ」にて活動報告会の開催</li> <li>◆決算書類、事業報告書を税務署および所轄庁に送附なく提出した。</li> <li>◆各種保険、賞状に関する取り更新。</li> <li>◆日々の経理、総務、労務に関する業務を遂行した。</li> <li>◆メールマガジンの継続発行(月1回)</li> <li>◆2018年度活動報告書発行</li> <li>◆サマー大会員募集(15名:5月末現在)</li> <li>◆ブログやFB、Twitterでの情報発信</li> <li>◆各種取材、調査やアンケートへの対応</li> <li>◆定款変更手続き</li> <li>◆無料職業紹介事業所の継続</li> <li>◆内閣府 令和元年度「女性のチャレンジング」女性のチャレンジ支援、復興庁 令和元年度「新しい東北」復興・創生顕彰発表</li> <li>◆給与制度の改定 ◆個別面談 ◆新スタッフの採用など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆朝メール、タメールによるスケジュールの共有や、SNSのスタッフグループでの情報のやりとりが定着し、スタッフ間のコミュニケーションが活発化した。</li> <li>◆これまでは、一部の事務局メンバーで事業計画を立てていたが、2018年度からは、関係スタッフ内のmtgを経て、事業計画を立てるようになった。</li> <li>◆これまでは、一部の事務局メンバーで事業や予算を管理し、助成金等の申請書報告書を作成していたが、2018年度からは、各事業担当スタッフが自ら行えるようになった。</li> <li>◆組織や事業の改善については、スタッフ全員で話し合うようになり、具体的な成果も見られた(ゴミ箱や駐車場など)。</li> <li>◆収益事業を長年守り立て、復興コーディネート事業のブラッシュアップに取り組めた。</li> <li>◆給与制度を改定し、スタッフ一人ひとりの能力や職歴、職責に応じて、個別に給与を設定することで、スタッフのモチベーションの向上につながった。</li> <li>◆定款を変更し、無料職業紹介事業をスタート、就業準備中の子育て女性らに向け、求人中の事業所を紹介できるようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆徹底した情報共有。</li> <li>◆団体の財務状況の共有。</li> <li>◆振り返りmtgの定期開催。</li> <li>◆個別面談(年1回)</li> <li>◆報告書作成を必須に置いて日常的に業務を記録していく。</li> <li>◆決算に向け小さなところから経費削減していく。</li> </ul>								

### 3 実施体制などに関する事項

#### (1) 総会の開催状況

##### ① 通常総会

- ・開催日時 2019年5月31日〔金〕17時～18時
- ・開催場所 石巻復興支援ネットワーク事務所
- ・出席者等 正会員総数10名出席（内、出席者2名、評決委任者5名、欠席3名 計10名）
- ・議事内容 第8期事業報告に関する事項、第8期決算報告に関する事項、  
役員の選任について、議事録署名人の選任に関する事項

#### (2) 理事会および監査の開催状況

- ・2019年5月30日 内部監査  
内容：前年度の理事の業務遂行状況及び財産の状況の監査
- ・2019年5月31日 第1回理事会  
内容：第9期事業計画に関する事項等
- ・2019年5月31日 第2回理事会  
内容：代表理事などの互選に関する事項等

#### (3) 会員に関する事項（2020年6月末現在）

- ・社員（正会員）数：10人（個人10人）

#### (4) 役員に関する事項（2020年6月末現在）

- ・役員総数：5人（理事4人、監事1人）
- ・代表者：理事（代表理事） 兼子佳恵

#### (5) 職員に関する事項（2020年6月末現在）

- ・職員総数：11人（うち、理事兼任1人）

#### (6) 情報発信体制に関する事項

- ・ホームページ  
団体公式ウェブサイト：<http://yappesu.jp/>  
Eyes for future公式ウェブサイト：<http://eyesforfuture-yappesu.jimdo.com/>  
石巻に恋しちゃった♡公式ウェブサイト：<http://ishikoi.com/>  
Amanecer公式ウェブサイト：<http://amanecer.ocnk.net/>  
おうち仕事公式ウェブサイト：<http://iviento.jimdo.com/>  
無事かえるリュック販売サイト：<http://bujikaeru.jimdo.com/>